

令和 5 年度 事 業 実 績

島根県で策定された「島根県農林水産基本計画」では、林業の低コスト化や製材用原木の需要拡大、また生産現場を支える林業就業者の確保対策を進めることとされており、達成に向けては6つの重点推進事項が設定され、様々な事業等が展開されている。

本流域林業活性化センター内でも、この重点推進事項に寄与する事業を引き続き実施するとともに、川上から川下の森林・林業関係者の連携のもと、流域林業の活性化に向けた取り組みを行った。また近年注目されているスマート林業の推進や、森林整備における技術向上に向けた事業実施に努めた。

1. 原木生産・再造林の低コスト化

(1) 生産技術向上の取り組み

- ① 労働生産性向上に向けた研修会（活性化センター単独事業）
 - ・車両系搬出システムによる原木生産体制や施業プラン作成と進捗管理
 - 11月27日 大田市 大田市森林組合ほか現地
 - 講 師：大田市森林組合職員
 - 参加者：19名

- ② 伐木造材技術向上研修会（活性化センター単独事業）
 - ・安全で効率的なチェーンソーワーク技術の習得
 - 10月25日～26日 雲南市 グリーンパワーうんなん ほか現地
 - 講 師：ジット・ネットワークサービス 石垣理事長ほか
 - 参加者：6名

- ③ 低密度植栽先進地視察（活性化センター単独事業）
 - ・広島県内の国有林における低密度植栽地視察
 - 8月1日 広島県福山市 現地ほか
 - 講 師：広島森林管理署職員
 - 参加者：19名

(2) 原木増産に向けた支援

- ① 「循環型林業に向けた原木生産促進事業（県単事業）」の補助金交付事務
斐伊川流域交付実績 27,722,380円
原木量 52,605m³

(3) スマート林業の推進（活性化センター単独事業）

- ① ドローンを活用した省力化技術研修会
 - ・ドローンを活用した資材運搬やデータ解析11月8日 飯南町 県有林
講 師：出雲市職員、(株)スカイフィールド
参加者：68名

2. 製材用原木の需要拡大

(1) 木材製品（県産材）需要拡大に向けた取り組み（活性化センター単独事業）

- ① ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）等講演会（活性化センター単独）
 - ・ZEHへの対応と構造計算特例廃止に関する学習11月13日 出雲市 朱鷺会館
講 師：省エネ住宅推進協議会長 黒川会長
参加者：33名
- ② 木材製品需要先等への視察（活性化センター単独事業）
 - ・「新時代に対応した木材の売り方」
工務店、集成材工場の視察やグレーディングマシン活用状況11月15日～16日 1) 兵庫県 しそうの森の木
2) 奈良県 高田木材協同組合
3) 大阪府 アジアトレーディングセンター
講 師：1) しそうの森の木職員
2) 高田木材協同組合職員
3) 大阪市職員
参加者：11名
- ③ マーケティングセミナー（活性化センター単独事業）
 - ・時代に対応した売り方8月30日 出雲市 朱鷺会館
講 師：株式会社 古川ちいきの総合研究所 代表取締役 古川大輔氏
参加者：74名

3. 林業就業者の確保

(1) 人材育成・確保の取り組み

- ① 高校生の林業学習実践支援業務委託事業（県単事業）
 - ・林業に係る講座開催や事業体訪問、体験会など林業学習の開催

【実施校及び実施回数】

松江地区

松江農林高校 9回、立正大湫南高校 5回、松江西高校 1回

雲南地区

三刀屋高校掛合分校 3回、飯南高校 2回

出雲地区

出雲西高校 13回、出雲農林高校 2回、出雲工業高校 1回

4. 斐伊川流域荒廃林等再生整備基金協定（活性化センター単独）

（1）協定事業の実施

① 荒廃林整備の実施

・保育下刈り 29.27ha、除伐 10.75ha 補植 0.45ha

② 自治体協議会の開催

・補助金等最新データによる事業費試算と整備内容の検討

5. その他受託事業

① 里山集落周辺森林整備事業

・流域内実施箇所数 継続実施5件、新規4件

② 林業省力化技術実証事業

・無人ヘリコプターによるレーザー計測と森林解析（ヤマハ発動機株式会社）

5月11日 飯南町小田（県有林内事務所前駐車場）

参加者：44名